

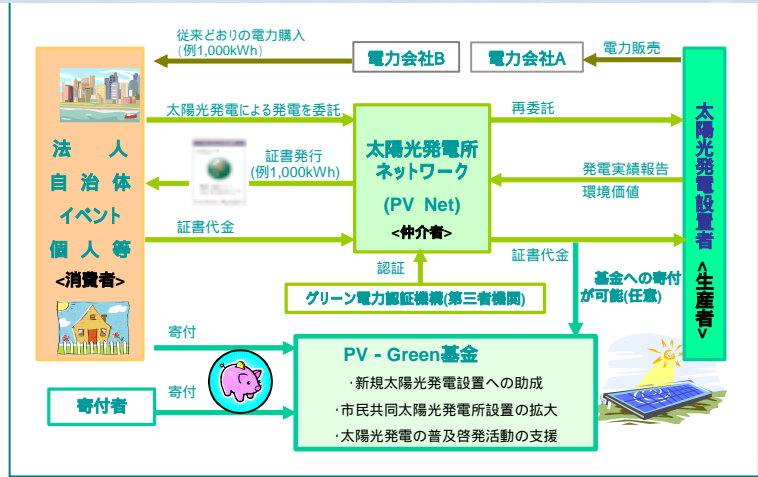
☀️ グリーン電力証書ってなあに？

電気を使う人が 自然エネルギーを利用し
温暖化防止に貢献できるツールです

もし、使うエネルギーも環境のことを考えて選ぶことができれば。。。これまで、自然エネルギーから生まれた電気を使うためには、発電設備をつけるか、発電設備から直接電気を送る必要がありました。

自然エネルギーから作られた電力は、「電気としての価値」のほかに、地球温暖化の原因の1つである二酸化炭素の排出を伴わないなどの理由で、地球環境や未来をより良くするといった「環境価値」を持っています。この「環境価値」を買う人は、自然エネルギーから作られた電気を使っているとみなされる、というルールが生まれました。「環境価値」のある自然エネルギーを利用していることを証明するものが、「グリーン電力証書」です。

証書の購入費用は発電所に支払われるので、証書を購入した人は、自然エネルギーの普及・促進に貢献することができます。



「グリーン電力証書機関」が発電設備や発電量を審査し、グリーン電力の信頼性を担保しています

PV - Green ~ 太陽のグリーン電力証書 ~

「電気を必要とする私たちにできること」 - 選んで 使い 太陽光発電を育てる -

太陽光の電力使用(代金支払) 証書購入

「環境価値」の移行

太陽光発電所ネットワークが 証書の発行、販売を代行

国産の電気生産者支援 太陽光発電の普及促進

- * 企業は…**

企業の社会的責任(CSR),CO2 排出抑制として

 - ・ 事業所や製品、サービス等事業のグリーン電力活用、環境貢献に
 - ・ 将来的な環境リスク(環境税、CO2 排出管理等)への早期対応に

事業、製品、サービスのブランド化や販売促進に

 - ・ 太陽で編むセーター、太陽で走る路面電車など様々な可能性
- * 自治体は…**

グリーン購入・調達を通して、地場産の自然エネルギー育成、地球温暖化対策を推進

例: 佐賀県太陽光発電トップランナー推進事業など

 - ・ 災害に強い安心・安全な地域づくり、雇用の促進など

市民へのアピール・普及啓発として

例: EPA(米国環境保護庁)は年間消費電力約 3 億 kWh(100%相当)をグリーン電力証書の購入により自然エネルギーで供給
- * イベントで…**

環境イベントを太陽光のグリーン電力で開催

 - ・ コンサート、写真展、環境フェア、セミナー、国際会議等で活用

来場者へのアピール・普及啓発に

 - ・ 産太陽光のグリーン電力で開催する CO2 フリーイベント
 - ・ チラシ、プログラム、ホームページでアピール
 - 例: 再生可能エネルギー国際会議、ap bank fes'06(静岡産)
- * 個人のみなさんは…**

電気のグリーンコンシューマーとして

 - ・ 普段使う電気も、選ぶと社会を変える力になります
 - ・ 地元の太陽光発電所の支援につながります

心地よい時間を太陽のグリーン電力で過ごす

 - ・ 誕生日、記念日などあなたの特別な日を"太陽のグリーン電力"で過ごしてみませんか
 - ・ グリーンな一日、一年、旅行等をプレゼントすることもできます

「電気をつくる太陽光発電所にできること」 - 参加して 作り 太陽光発電を育てる -

自家消費電力に含まれる「環境価値」を PV グリーン電力証書として販売でき、新たな収入になります

参考例: 収入約 10,000 円 / 年 × 20 年稼働 = 20 万円 ささやかな設置助成のかわりに… (発電設備規模等によります)

受取代金を、発電所の希望により、太陽光発電の新規設置を促進するための「PV-Green 基金」に寄付できます



☀️ PV - Green ~ 太陽のグリーン電力証書 ~ の特徴は？

【地産地消】 ~ 安全安心な地元のエネルギー

PV-Green の産地は、日本全国の太陽光発電所。野菜の産地を選ぶように、地元のグリーン電力を選び、地産地消で太陽光発電を支援できます。「 」では、CO2 フリーの太陽(産)のグリーン電力を利用しています」と地域に密着した環境貢献をアピールできます。

【PV-Green 基金】 ~ もっと増やすために

太陽光発電の新規設置などを支援する「PV-Green 基金」を通して、電気を使う人と作る人両方の力で、太陽光発電をもっと育てます。世界中に降り注ぐから、取り合いや争いを生まない、人に環境にやさしい太陽エネルギーの活用を推進し、平和で豊かな地域と未来創りに貢献します。

PV - Green

～ 太陽のグリーン電力証書 ～

太陽のエネルギーを

未来を

選んで

日本全国の太陽光発電所が
手をつなぎ
グリーン電力を
提供しています

世界は今

温暖化原因を人為的 CO₂ 増加と断定

IPCC 第 4 次報告は、21 世紀末、化石エネルギー依存社会が続く場合、平均気温は 1980 99 年比約 4 上昇と予測。

京都議定書で、日本は 2008 12 年平均の温室効果ガス排出量を、1990 年比 6%削減する義務をおっていますが、逆 8%も増加しています。

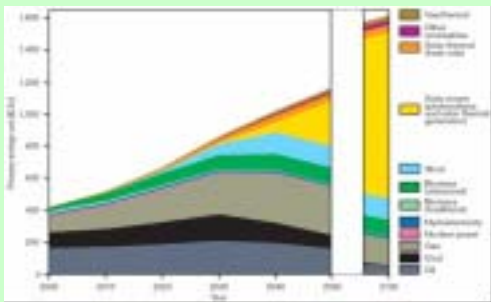
未来のエネルギー社会

2050 年には世界の一次エネルギーの 50%を再生可能エネルギーが、2100 年には 2/3 を太陽光発電と太陽熱発電が担う、という目標に近づいた政治が、ドイツではじまっています。

欧州全体では、2010 年までに一次エネルギーの 12%、2020 年までに 20%を、再生可能エネルギーへ転換することを目ざしています。

日本の目標は、2010年に1次エネルギーの3%。

世界では、脱石油、脱原発後のエネルギー社会が、既に語られているのです。



出典 "Welt im Wandel: Energiewende zur Nachhaltigkeit" WBGU, 2003

太陽光発電のもつ可能性

世界中に降り注ぐ無尽蔵の太陽光が燃料
地球上に 1 時間降り注ぐ太陽エネルギーは、なんと世界中で消費する年間エネルギーに相当します。

クリーンなエネルギー

NO_x、CO₂ など環境問題を引き起こす物質の排出が発電時 0。また、日中発電するためピークカット効果があり、石油火力との代替関係も強く、CO₂ 排出抑制効果が高いのです。

省エネルギー、省資源

化石燃料の使用を減らし、利用されない廃熱・送電ロス（一次エネルギーの約 65%）も抑えます。

また、住宅屋根の 3kW システム（宅地 40 坪程度）は、テニスコート 6 面分（1,000 坪）の森林を作り CO₂ の排出を抑制したことに匹敵します。

みませんか？

【お問合せ先】 特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク (PV-Net)

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-10 湯島ビル 202 電話/FAX: 03-5805-3577/ 3588

E-Mail info@greenenergy.jp URL: <http://www.greenenergy.jp>

全国の太陽光発電ユーザーや自然エネルギーに関心をよせる有志の環境・エネルギーNGOです。2003年5月設立。太陽光発電に関する中立的な情報の共有や社会への発信、相談活動、太陽のグリーン電力証書発行・販売など、様々な活動を通して、太陽光発電の健全な普及・推進に貢献する、全国ネットワークを構築しています。

